新庁舎の平面計画

低層部（1~3 階）の平面計画

1. 市民にわかりやすい窓口

市民が多く訪れる窓口を 1 ～ 3 階の低層部に集約配置します。

窓口は、庁舎の中央から見渡せる配置とします。

また、車での来庁者が、駐車場からまっすぐ窓口に向かう動線とします。

2. 市民に開かれた多様なスペース

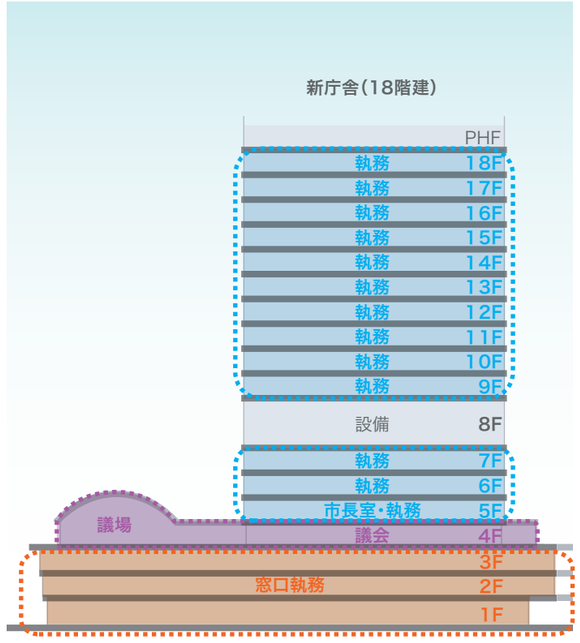
1 階には、市民が自由に往来できる大きなエントランスモールや市民交流スペースを設けます。

2 階には、市民広場に向けてレストランやテラスを設置し、市民の憩いの場とします。

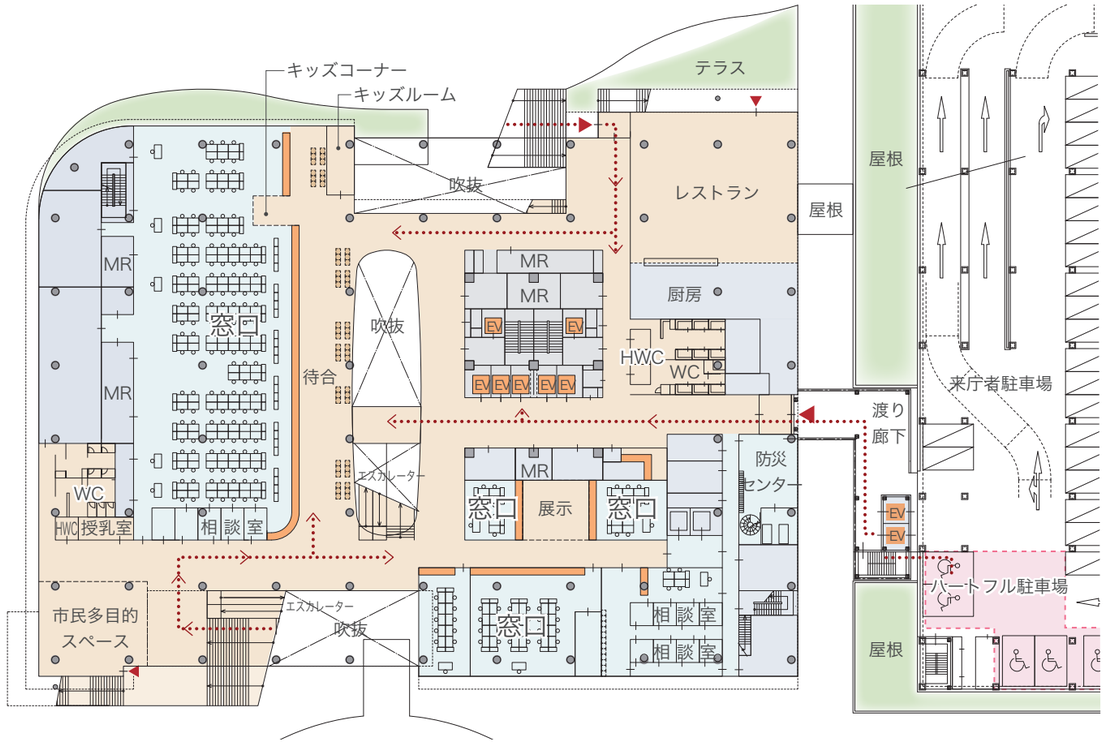
3. 市民の誰もが使いやすい新庁舎

バリアフリーやユニバーサルデザインを採用し、子どもや高齢者、障がい者、外国人の方など様々な来庁者に使いやすく、わかりやすい庁舎とします。

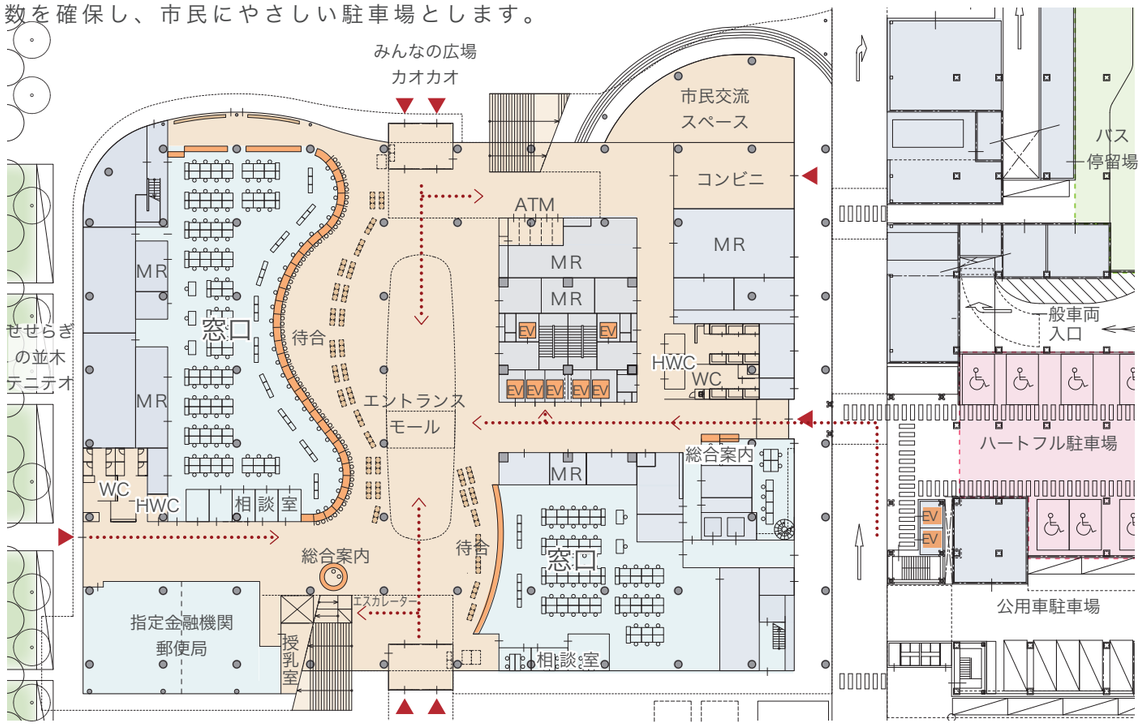
ハートフル駐車場を駐車場の低層部に十分な台数を確保し、市民にやさしい駐車場とします。



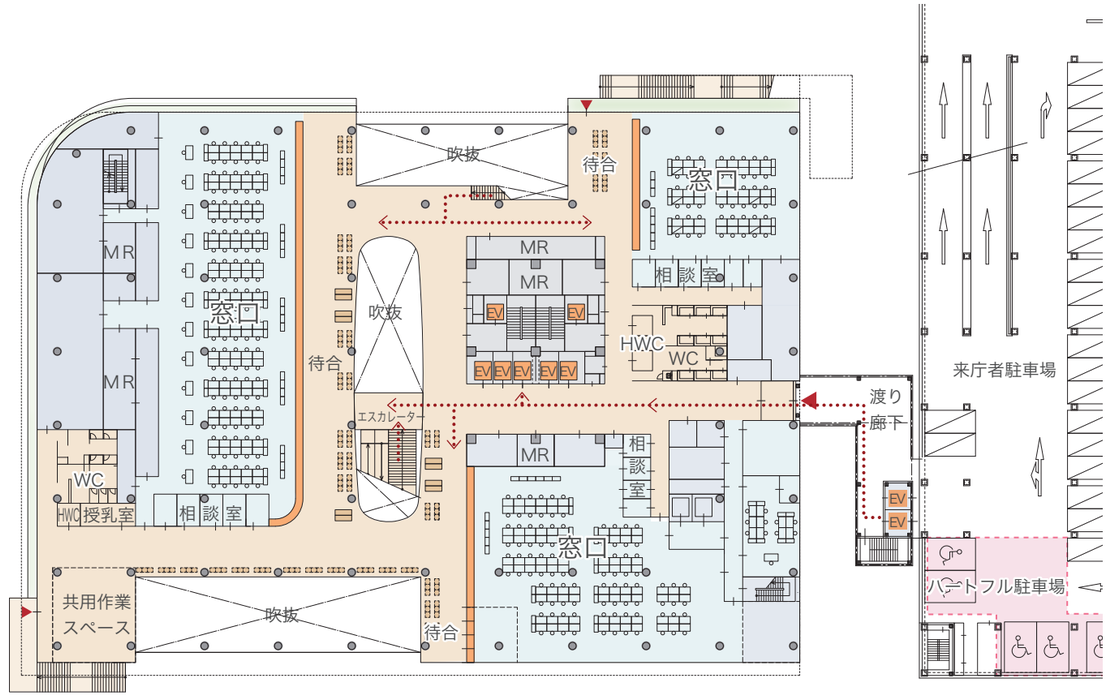
○新庁舎のフロア構成



2F：窓口（相談等） 国保年金・介護・子ども・市民相談、住宅や水道の窓口



1F：窓口（各種手続・証明） 戸籍などの手続きや各種証明、障がい者や高齢者などの窓口、金融機関



3F：窓口（相談等） 諸税や生活保護の窓口

※MR：機械室、EV：エレベーター、HWC：多目的トイレ

◀ 来庁者出入口 ◀····· 来庁者動線

0 5 10 20 50m N